

平成26年度障害者支援施設静心園事業報告書

静心園は、昭和57年身体障害者療護施設として開設し、平成24年3月に障害者自立支援法による障害者支援施設へ移行し、生活介護、施設入所支援、短期入所の各事業の福祉サービスを提供しています。障害者支援施設静心園は利用者本位の支援の提供を基本としサービス管理責任者による個別支援計画の策定および定期的な見直しにより利用者様の自己決定を尊重し利用者様一人ひとりの支援計画に基づいたサービスの提供に努めました。利用者様の人権および尊厳を守るため障害者支援施設静心園虐待防止・権利擁護ガイドラインによる人権侵害防止への取り組みや施設における身体拘束廃止および緊急やむを得ない場合の解除に向けた介護方法を検討し安心・安全かつ良質なサービスの提供と利用者様との信頼の向上に向けて取り組みました。利用者様一人ひとりその人らしい生活を支援することを目的として、「社会福祉法人けやきの村事業計画」に基づき、それぞれの事業および分野で次の各項目にそって事業を実施しました。

1. 運営管理及び諸会議

(1) 施設は、利用者の立場に立った施設支援を提供することを目標に次の整備を行いました。

- ①ストレッチャースケールの購入
- ②乗せかえ装置付電動ストレッチャーの購入
- ③ガスヒートポンプエアコン修繕
- ④トイレ大便器修繕
- ⑤濾過器ポンプ交換修繕
- ⑥ベッド廻りカーテンの更新
- ⑦居室（外）ドアカーテンの更新
- ⑧俎板山湧水配管布設工事
- ⑨薬注ポンプ交換修繕
- ⑩冷凍冷蔵庫更新
- ⑪キッズコーナー購入
- ⑫パソコン更新（デスクトップ3台、ノート6台）
- ⑬3モーターギャッジベッド1台更新
- ⑭コーヒーメーカー（1台）、フードプロセッサー（1台）、ファイバーミキサー（1台）
寄贈（福島市市民懇話会・パナソニックAVCネットワーク労働組合様）
- ⑮冷凍冷蔵庫寄贈（1台）（政本健治様）

(2) サービス提供の主体として、利用者の選択に十分応えることができるよう、サービスの質の向上を図るため「障害児・者のサービス共通評価基準」をもとに自己評価を行いました。

(3) 個別支援計画作成会議を開催し、利用者の生活の質を重視したその人らしい快適な生活が送れるよう、利用者個々の状況及びニーズに基づいた個別支援計画書を作成し、計画に基づき適切なサービスの提供に努めました。

個別支援計画作成会議開催回数；39回

個別支援計画作成対象利用者；50名

(4) 施設の適正な運営及び行事等の計画立案のため職員会議を開催しました。

職員会議開催回数；10回

(5) 公正・公平な事業運営と利用者のサービス選択に資するため、サービス内容に関する情報

の提供、財務諸表及び事業報告書等の開示を行うとともに、法人機関紙として「けやきの村便り」を3回発行しました。

- (6) 福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を汲み上げ、利用者と施設が対等の関係を築くとともに、利用者本位の福祉サービス提供を実現するために苦情解決体制の推進を図りました。詳細については、「3. 苦情への対応について」を参照。

苦情受付件数；1件

- (7) 利用者が施設において安心、安全な生活が送れるよう、ヒヤリ・ハット報告による未然防止及び事故が発生した場合の再発防止に努めました。詳細については、「4. 事故防止について」を参照。

ヒヤリ・ハット・事故報告件数；159件

- (8) 職員の研修会への参加については、福島県社会福祉協議会研修センター主催の研修会を中心に参加し資質の向上に努めました。

参加した外部研修会	①県研修センター主催による研修会	6回	8名
	②関係団体主催による研修会等	11回	17名
参加した内部研修会及び勉強会			
	法人主催 研修会	1回	4名
	普通救命救急講習会	1回	3名
	施設主催 勉強会	1回	29名
	OJT	1回	30名
介護職員等によるたんの吸引等の研修関係			
	①不特定の者対象の研修	1回	1名
	②指導者養成講習会	0回	0名
	③特定の者対象の研修	1回	2名

- (9) 平成26年度福島市障がい者週間記念事業の実務担当者として2名の職員が参加し、啓蒙活動及び「ふれあいの集いスタッフ」として関わりました。

- (10) 中野地区展覧会の実行委員として企画・運営に参画し、地域活動を支える団体としてその一翼を担いました。

2. 利用者へのサービス提供について

(1) 生活支援

①利用者の生活の質を重視したその人らしい快適な生活が送れるよう、利用者個々の状況及びニーズに基づいた個別支援計画書を作成し、計画に基づき適切なサービスの提供に努めるとともに、適切な時期にモニタリングを行い、利用者の実情に沿った計画の見直しなど、きめの細かいサービス提供に努めました。

②きめの細かい個別支援の提供のため、利用者の状況をできるだけ詳細に記録することに努め、個別支援計画作成やモニタリングに際して貴重な記録となりました。

③防火管理上の安全を図るため、機械室・調理室・洗濯室の火気・電気設備の自主点検を実施しました。

④利用者の身体的機能の維持及び向上を図るとともに、安全で安心できる環境を整え、一人ひとりがその人らしく生活を楽しめるよう個別支援を実施しました。

(2) 各種訓練等の実施

①介護外出（一人では外出できない利用者のため）

福島市内など（22回実施、延べ40名参加）

②余暇活動

- カラオケ（45回、延べ941名参加）
- クラブ活動；園芸クラブ（2回、延べ18名参加）
- 音楽クラブ（3回、延べ82名参加）
- 創作クラブ（4回、延べ85名参加）
- 調理クラブ（6回、延べ199名参加）
- 文芸クラブ（1回、延べ34名参加）
- レクリエーションクラブ（2回、延べ45名参加）

③ボランティアの受入

- *フィールアニマル（アニマルセラピー；4回、延べ73名参加）
- *福祉レクリエーションネットワークinふくしま
（歌、ゲーム、体操；1回、33名参加）
- *徳一コペン（1回、延べ20名参加）
- *市民オーケストラ（1回、延べ45名参加）

④お盆休暇・年末年始休暇の帰省状況

- お盆休暇（8月13日～8月16日）15名（内日帰り3名）
- 年末年始休暇（12月29日～1月3日）14名（内日帰り1名）

(3) 父兄参加・地域開放行事の実施

- ①施設主催花見会（4月26日）利用者47名、父兄35名、町内会等7名
- ②施設主催納涼祭会（7月30日）利用者50名、町内会等5名
- ③法人主催納涼大会（8月7日）利用者3名
- ④けやき祭（9月28日）利用者37名、父兄18名、知人1名
- ⑤施設主催芋煮会（10月18日）利用者48名、父兄37名、町内会等10名

(4) 対外行事への参加

- ①三井流舞踊感謝大会（4月5日）利用者3名
- ②福島市障がい者スポーツ大会（10月11日）利用者2名

(5) 対外作品展への出品

- ①福島市福祉作品展出品（12/6～8）2名 2作品
- ②中野地区展覧会出品（2/7～8）2名 2作品
- ③NHKハート展に作品応募 1名1作品

(6) 機能訓練

4/3～6/30は、週3日（月、木、金）で38日実施し、延べ556人の利用者が機能訓練を行った。1日平均の訓練実施利用者は14.6人。7/7～1/8は、週2～3日（月、火、木、金）で81日実施し、延べ1293人の利用者が機能訓練を行った。1日平均の訓練実施利用者は15.9人。1/9～3/31は、週5日（月～金）で55日実施し、延べ909人の利用者が機能訓練を行った。1日平均の訓練実施利用者は16.5人。年間では、174日実施し、延べ2758人の利用者が機能訓練を行った。1日平均の訓練利用者は15.8人。

(7) 健康管理

①健康診断の実施

- 第1回実施期間；平成26年6月 受診者数；48名
- 第2回実施期日；平成26年11月～12月 受診者数；50名

②結核検診

実施期間；平成26年11月～12月 受診者数；50名

③体重管理

体重測定；12回実施

④血圧測定；毎月実施

⑤嘱託医出務；週1回

⑥入院の状況

延べ入院者数；7名（実人数6名） 平均入院期間；13.6日間

⑦口腔ケア対策

内容；歯磨き指導、除石 回数；33回

⑧インフルエンザ予防接種（50名実施）

(8) 給食状況

①嗜好調査の実施（12月24日～1月7日）

②給食委員会の開催；毎月1回

③選択メニューの実施回数；67回

④治療食等の実施

⑤刻み食の実施（刻み食・ブレンダー食）

3. 苦情への対応について

平成26年度における苦情については、下記のとおりです。

苦情受付件数；1件

苦情相談内容；職員の対応に関する事項

利用者友の会（自治会）役員と毎月集まりをもち、意見や要望を聞く機会を多く作っており、毎回役員が利用者の皆さんから集めた声や、役員自らが感じていること、考えていることをたくさん出して頂いていています。利用者様への対応について、安心して楽しく安全に生活していただけるように、職員一同共通の認識を持ち努力しているところです

4. 事故防止について

(1) 避難訓練の実施；毎月1回

(2) 通報訓練（法人全施設合同）；8月27日

(3) 総合避難訓練の実施；10月29日

(4) 飯坂消防署による立入査察；7月17日

(5) 防災講座；講師、飯坂消防署予防保安係長；3月23日

(6) 消防設備の点検；年2回

(7) たこ足配線等コンセントの点検；随時

(8) ヒヤリ・ハット及び事故報告件数について

ヒヤリ・ハット類型別割合については以下のとおり。

	平成25年度	平成26年度
利用者同士の接触	1件 (0. 7%)	2件 (1. 3%)
利用者の行為	29件 (20. 7%)	30件 (18. 9%)
外傷・医療的事項	21件 (14. 9%)	13件 (8. 2%)
誤薬等薬に関する事項	9件 (6. 4%)	19件 (11. 9%)
転倒・転落	57件 (40. 4%)	47件 (29. 5%)
職員の行為	7件 (4. 9%)	11件 (6. 9%)
その他	17件 (12. 0%)	37件 (23. 3%)
合計	141件 (100. 0%)	157件 (100. 0%)

利用者様に安全に安心して生活して頂くためヒヤリ・ハット（インシデント）、事故報告書によりリスクマネジメント会議を開催し事故予防と再発防止に努めました。

5. 施設の利用状況

入所者（定員52名）

	月初めの 現 員	在 籍 延べ日数	外泊・入院 延べ日数	延べ実利用 日 数	利用率
4月	48人	1,440日	14日	1,426日	99.02%
5月	48人	1,488日	15日	1,473日	98.99%
6月	49人	1,452日	5日	1,447日	99.65%
7月	50人	1,550日	6日	1,544日	99.61%
8月	50人	1,550日	51日	1,499日	96.70%
9月	50人	1,500日	14日	1,486日	99.06%
10月	50人	1,550日	5日	1,545日	99.67%
11月	50人	1,500日	5日	1,495日	99.66%
12月	50人	1,550日	46日	1,504日	97.03%
1月	50人	1,550日	33日	1,517日	97.87%
2月	50人	1,400日	11日	1,389日	99.21%
3月	50人	1,550日	13日	1,537日	99.16%
合 計	595人	18,080日	218日	17,862日	98.79%
平 均	49人	1,506日	18日	1,488日	

短期入所者（空床利用）

	月初めの 現 員	在 籍 延べ日数		月初めの 現 員	在 籍 延べ日数
4月	2人	10日	11月		
5月	2人	42日	12月		
6月	2人	38日	1月		
7月			2月		
8月			3月		
9月			合 計	6人	90日
10月			平 均	2人	30日